

2022年

## 輸送の安全に関する基本的な方針

- (1) 安全の確保と人命の尊重がバス事業者の最大の使命であることを認識し、役員・社員が一丸となって、その使命達成に全力を尽くす。
- (2) 輸送の安全に関する法令や関連する社内規程を十分理解するとともに、これらを遵守し、厳正かつ忠実に職務を遂行する。
- (3) 安全管理体制を維持向上させるため、常に仕事の点検と確認を怠らないようにし、継続的改善を図る。
- (4) 事故防止のため、社員の健康管理体制を一層強化する。
- (5) 新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底する。
- (6) 輸送の安全に関する方針や目標などの情報を、ホームページを活用するなどして、利用者に積極的に公表する。

千歳相互観光バス株式会社

代表取締役社長 沼田 聖

## 2022年安全目標

- (1) 人身事故を**ゼロ**に！
- (2) 事故件数を前年度より**半減**！
- (3) 一般道・高速道とも法定速度を**遵守**！
- (4) 飲酒運転は**厳禁**！
- (5) 始業前点検・終業時点検の**徹底**！
- (6) 心臓・呼吸器疾患の早期発見と早期治療！

千歳相互観光バス株式会社

代表取締役社長 沼田 聖

輸送の安全に関する基本方針と安全目標に基づく取組計画

(2022年)

区 分	具体的な取組項目
<p>安全教育と安全運行に関する取組</p>	<p>警察署や保険会社と連携した安全教育の実施（年1回程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・提携保険会社から講師を招き、危険予知トレーニングを実施</li> <li>・札幌厚別警察署と千歳警察署に講師派遣を依頼し、安全運転セミナーを開催</li> </ul>
	<p>消防署に講師派遣を依頼し、心臓マッサージやAEDの救急救命に関する実技講習を実施</p>
	<p>役員と管理職による安全巡回や同乗指導を随時実施。その結果を社内で公表するとともに、必要に応じて個別に乗務員を指導教育</p>
	<p>自社と他社における事故事例（新聞報道や北海道バス協会からの情報を含む。）と警察署からの交通事故例を社内掲示板で周知</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタコ記録に基づく法定速度遵守状況の把握と、必要に応じて乗務員への指導を実施</li> <li>・記録管理付きアルコールチェッカーの厳格な運用</li> </ul>
	<p>終業点呼時において運転者から道路情報や危険情報を取り寄せ、事故防止を徹底</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大型二種免許取得に当たっての全額助成措置を継続</li> <li>・新採用運転手に対する教育訓練の実施 標準座学時間42時間及び標準運転時間125時間の確保</li> </ul>
<p>安全輸送に関する設備充実の取組</p>	<p>デジタコによる省エネ運転のさらなる励行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタコ記録に基づいてアイドリングの短縮等を指導</li> </ul>
<p>事故多発者や高齢運転者等への指導</p>	<p>大きな事故を引き起こした者や事故多発者に対する適性診断（カウンセリング付き一般診断を含む）の実施</p>
	<p>60歳以上の高齢運転者に対する研修と適性診断の実施</p>
<p>健診体制の充実強化による事故防止</p>	<p>脳MRI検査等の実施による脳疾患・呼吸器疾患・心臓疾患・睡眠時無呼吸症候群の早期発見と早期治療</p>
<p>新型コロナウイルス感染防止対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員にうがい、手洗い、手指消毒、検温を徹底するよう指示</li> <li>・車内における定期的な換気の励行、抗菌コーティングの実施</li> </ul>
<p>その他取組内容の公表など</p>	<p>自社のホームページで輸送の安全に関する基本方針や安全目標、達成状況などを公表</p>
	<p>運輸安全マネジメントの評価項目を取り入れた勤務評価の継続実施</p>

2022年 予算計画書

(輸送の安全投資計画に関するもの 総額406万円)

※金額はいずれも税抜き

- |   |                                      |            |
|---|--------------------------------------|------------|
| 1 | 車両の老朽化に伴う入替のための購入費                   | 2,000,000円 |
| 2 | 運転者の適性診断手数料                          | 168,000円   |
|   | ・初任診断 4,700円× 5人=23,500円             |            |
|   | ・適齢診断 4,700円×20人=94,000円             |            |
|   | ・特別診断 10,100円× 5人=50,500円            |            |
| 3 | 指導講習手数料(テキスト代含む)                     | 77,000円    |
|   | ・基礎講習 11,300円× 5人=56,500円            |            |
|   | ・一般講習 4,100円× 5人=20,500円             |            |
| 4 | 提携保険会社による危険予知トレーニング実施費<br>講師謝礼、昼食代など | 20,000円    |
| 5 | 警察署による安全運転セミナー開催費<br>講師謝礼など          | 10,000円    |
| 6 | 消防本部による救急救命講習実施費<br>講師謝礼など           | 10,000円    |
| 7 | 従業員健康診断実施費<br>90人×7,000円(平均単価)       | 630,000円   |
| 8 | 睡眠時無呼吸症候群検査費<br>90人×4,000円           | 360,000円   |
| 9 | 脳MRI検査費及び肺機能検査費<br>40人×20,000円(セット)  | 800,000円   |

輸送の安全に関する取組計画の達成状況（2021年）

区 分	具体的な取組項目	取組の達成状況	マネジメントレビュー (是正・改善)
安全教育と安全運行に関する取組	保険会社と連携した安全教育の実施	コロナ感染症の拡大により、集合研修を断念。	コロナ感染症の収束に合わせて、テキスト等による個別の実施や、少人数での分散開催を検討・実施
	救急救命講座の開催	コロナ感染症の拡大により、断念。	コロナ感染症の収束に合わせて、少人数での分散開催を検討・実施
	役員による安全巡回と同乗指導の実施	随時実施済み	同乗指導をより強化
	自社・他社の事故例や警察からの事故例を掲示	掲示済み	継続して実施
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタコ・ドライブレコーダー記録計に基づく法定速度遵守状況と運転状態の把握</li> <li>・記録管理付きアルコールチェッカーの厳格な運用</li> </ul>	<p>随時チェックし、必要に応じて乗務員を指導済み</p> <p>アルコールが検知された者については、当日の乗務を停止</p>	より厳格なチェックと指導を強化
	終業点呼時における運転者からの改善情報の提供	随時、提供を受けている。	記録化し、他の乗務員に周知徹底

区 分	具体的な取組項目	取組の達成状況	マネジメントレビュー (是正・改善)
安全輸送に関する 設備充実の取組	デジタコによる省エネ 運転のさらなる励行	デジタコ記録に基づ いてアイドリングの 短縮等を指導	継続して実施
	衝撃軽減措置や横滑り 防止、居眠り運転防止 付きの新型貸切バスを 導入	本年度の導入は見送 った。	今後は計画的に車両 更新を実施していく
事故多発者や高齢 運転者等への指導	大きな事故を引き起こ した者や事故多発者に 対する適性診断の実施	適性診断を受診させ るとともに、その結 果に基づいて必要な 指導教育を実施	継続して実施
	高齢運転者に対する研 修と適性診断の実施	実施済み	継続して実施
健診体制の充実強 化による事故防止	脳MRI検査等の実施 による脳疾患・呼吸器 疾患・心臓疾患・睡眠時 無呼吸症候群の早期発 見し早期治療	睡眠時無呼吸症候群 の検査は未実施。 また、脳MRI検査 に関しても未実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>睡眠時無呼吸症候 群の検査の早期実施</li> <li>脳MRI検査に関 しては、早期の導入 を目指して準備を進 める</li> </ul>
その他取組内容の 公表など	ホームページで安全に 関する基本方針や安全 目標、取組の達成状況 などを公表	実施済み	公表内容をさらに工 夫改善し、レベルア ップしていく
	運輸安全マネジメント の評価項目を取り入れ た勤務評価の継続実施	勤務評価の結果は賞 与の支給額に反映	継続して実施

千歳相互観光バス株式会社

自動車事故報告規則第2条（重大事故）に規定する事故件数の状況は、次のとおりです。

自動車事故報告規則第2条に規定する事故に関する統計

区 分	2020年事故件数	2021年事故件数
正面衝突又は追突	0件	0件
後退時衝突	0	0
車両故障	0	0
その他	0	0
合 計	0件	0件

## ○輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

- 衝突被害軽減ブレーキ装置や横滑り防止装置等の付いた新型貸切バスを2019年度まで2台ずつ導入してきたが、今後も計画的に導入していく方針。老朽化の進んでいる、スクールバス用のマイクロバス等についても順次更新していく予定。
- 運転者に関して覚せい剤検査を実施してきており、継続実施していくとともに、今後は、睡眠時無呼吸症候群のスクリーニング検査及び脳疾患の早期発見のため、脳MRI検査の実施に向けて関係医療機関との調整を加速させていく。
- 65歳以上の高齢運転者に関して、法令に基づく適齢診断及び特別指導を実施しているが、運転者の高齢化が進んでいることから、輸送の安全確保のため、今後は適齢診断の受診の頻度を増やしていくことを検討する。

## ○輸送の安全に係る情報の伝達体制その他の組織体制

- 輸送の安全に関する情報を社内で伝達し共有するため、安全管理に関する組織体制・指揮命令系統の組織図を作成している。
- 事故や事件が発生した場合の運輸局や警察署、消防署など関係機関への緊急連絡体制や危機管理体制を構築している（緊急連絡表及び危機管理体制表の作成）。

## ○輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況

- 2019年度までは、救急救命講習やAED講習、非常口脱出訓練など事故や災害等への遭遇を想定した講習や訓練を計画的に実施してきた。2021年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大とその予防対策（3密の回避）のために、これらの講習や訓練を実施できなかったが、今後は十分な感染予防対策を講じながら必要な講習や訓練を実施していく予定。
- 毎年度、生命保険会社と連携して実施してきた危険予知トレーニング（参加体験型）と、警察署と連携した交通安全講座についても、2021年度は新型コロナの感染拡大のため実施が困難だったが、今後は相手方とスケジュール調整のうえ、十分な感染防止対策を講じたうえで実施していく予定。

## ○輸送の安全に係る内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置

- ・千歳本社、千歳長都、札幌の3営業所ごとに内部監査に従事する監査員を選任し、必要な教育指導を行なった上、毎年度定期的に内部監査を実施している。
- ・2021年度の内部監査では、監査員から次のような指摘及び改善意見が出されたので、この監査結果を踏まえた改善措置を早期に講じていくこととした。
  - ①休憩仮眠室をもっと社員が利用しやすくするための環境整備
  - ②現場の声を取り入れていくための社員ミーティングの定期的な開催
  - ③事故やヒヤリ・ハット情報の積極的な活用
  - ④重大事故等に対応した教育訓練の実施

## ○安全管理規程の内容（2013年12月18日制定）

### 第1章 総則（この規程の目的）

### 第2章 輸送の安全を確保するための事業の運営方針

- ・輸送の安全に関する基本的な方針
- ・輸送の安全に関する重点施策
- ・輸送の安全に関する計画

### 第3章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理体制

- ・社長の責務と車内組織
- ・安全統括管理者の選任
- ・安全統括管理者の責務

### 第4章 輸送の安全を確保するための事業の実施及びその管理方法

- ・輸送の安全に関する重点施策の実施
- ・輸送の安全に関する情報の共有及び伝達
- ・事故、災害に関する報告連絡体制
- ・輸送の安全に関する教育及び研修
- ・輸送の安全に関する内部監査
- ・輸送の安全に関する業務の改善
- ・情報の公開
- ・輸送の安全に関する記録の管理等

○安全統括管理者の選任及び届出状況

- 安全統括管理者の職及び氏名 専務取締役 鈴木 隆之  
(2021年4月1日選任)
- 北海道運輸局への届出 2021年4月26日